

農業農村整備事業等再評価地区別資料

局 名	北陸農政局
-----	-------

都道府県名	新潟県	関係市町村名	いわねぐんせきかわむら 岩船郡関川村
事業名	農業競争力強化農地整備事業	地区名	おんながわ 女川
事業主体名	新潟県	事業採択年度	平成 26 年度
<p>〔事業内容〕</p> <p>事業目的： 本地区は、岩船郡関川村の北部に位置し、一級河川女川の左岸の中山間農業地帯で水稻を基幹作物としている地域である。多くが未整備の狭小な区画、約 2 m 幅の狭い農道、用排兼用の土水路による排水不良等により、営農に支障を来している。</p> <p>このため、本事業によりほ場の区画整理、農道及び用排水路を整備するとともに、経営体等への農地集積を図り、生産コストの低減を行うことで、安定した農業経営を確立し地域農業を発展させ、本地域の農業競争力の強化を図るものである。</p> <p>受益面積： 252ha</p> <p>主要工事計画： 区画整理 187ha（整地工 187ha、農道 44km、用水路 38m、排水路 30km、暗渠排水 187ha）</p> <p>用水路 8 km 排水路 8 km 暗渠排水 65ha</p> <p>総事業費： 7,341 百万円（計画総事業費：6,895 百万円）</p> <p>工期： 平成 26 年度～令和 8 年度（計画工期：平成 26 年度～令和 4 年度）</p> <p>関連事業： 県営ため池等整備事業 <small>おわだ</small> 小和田地区、県営ため池等整備事業 <small>しんぼり</small> 新堀地区</p>			
<p>〔項目〕</p> <p>ア 事業の進捗状況</p> <p>本地区の整地工、農道工及び用排水路工は完了しており、令和 5 年度までの進捗率は 89.4% である。暗渠排水については、事業量の 93.6% が整備済みであり、引き続き整備を進める予定である。</p> <p>① 計画工期に対して著しい変更は認められないか</p> <p>本地区は、平成 26 年度に事業採択されたものの、令和 4 年度に発生した豪雨災害の復旧事業との調整に時間を要したことから工期を延伸することとなった。その後は区画整理が進み残事業の暗渠排水の整備も令和 8 年度完了に向けて事業進捗を図る予定である。</p> <p>② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか</p> <p>地元負担について、関係者との合意形成が図られている。</p> <p>イ 関連事業の進捗状況</p> <p>本地区の関連事業は「県営ため池等整備事業 <small>おわだ</small> 小和田地区」、「県営ため池等整備事業 <small>しんぼり</small> 新</p>			

堀地区」であり、新堀地区は平成 29 年度に事業完了している。小和田地区の令和 5 年度までの進捗率は 87%であり、令和 6 年度完了予定である。

- ① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか
農業農村整備事業管理計画に即し、適切に連携・調整が行われている。
- ② 国営附帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか
本地区は、国営附帯地区に該当しない。

ウ 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化

- ① 受益面積の増又は減が 10%未満であるか
受益面積の増減は 10%未満であるが、受益農地等の地区編入及び除外のため現在事業計画変更（令和 7 年 2 月計画確定予定）を行っている。
- ② 主要工事計画の著しい変更が認められないか
計画変更（令和 3 年 4 月計画確定）以降、計画通りであり、変更はない。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化（費用対効果分析の結果を含む）

本地区は、農業効果の算定基礎となる地域農業振興の基本方針などの諸情勢の変化を踏まえ計画変更済みであり、計画変更以降、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

- ① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）が計画事業費の 10%未満であるか
受益面積増減による計画変更を行っているが、計画事業費の変更はない。
- ② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか
岩船郡関川村の農業振興地域整備計画と整合が図られている。
- ③ 費用対効果分析の結果
(B/C) 1.01（現計画時：1.02）

オ 環境等の調和への配慮

本地域は、関川村農村環境計画において「農地エリア・高生産性農業ゾーン」に区分され、環境に与える影響を極力少なくするよう配慮する地域として設定されている。

本地区では、年間を通して水辺環境が残る一部の排水路を生態系配慮水路として整備することでホトケドジョウなどの生き物の生息環境を確保するなどし、それを地域住民や土地改良区を中心に保安全管理していくことによって農村環境の維持に努めている。

カ 事業コスト縮減等の可能性

埋蔵文化財保護盛土材に建設発生土を有効利用することで、建設コストの縮減を図った。
今後、本事業によって実施予定の工事においても、積極的にコスト縮減に努めることとする。

キ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向

ほ場整備事業を契機に新たに設立された生産法人を中心に農業経営を進めようとしており、農業法人等への農地集積率は 33%（平成 26 年度）から 57%（令和 5 年度）に増加している。

今後、地元では、地域計画策定に伴う促進計画の見直しを行うとともに、目標の達成に向けて、各集落への再度周知と啓発を行いさらなる集積率の向上を図っていくこととしており、経営基盤の強化や地域農業の発展が図られる本事業の早期完了を要望している。

ク その他

第 1 回計画変更年月日（計画確定日） 平成 30 年 1 月 31 日。

第 2 回計画変更年月日（計画確定日） 令和 3 年 4 月 18 日。

第3回計画変更年月日 現在法手続き中 令和7年2月計画確定予定。

事業主体の事業実施方針	継続する。
事業主体の予算要求方針	令和7年度予算を要求する。
第三者意見	<p>本地区では、区画整理及び用排水路の整備は完了し、事業進捗率は89.4%に達している。</p> <p>本事業を契機に新たに設立された生産法人を中心に農地集積率が増加するなど経営規模拡大が図られており、一定の事業効果の発現が認められる。</p> <p>事業の効果が早期に発現され、生産性の高い営農が行えるよう、環境への配慮やコスト縮減を図りつつ、着実かつ計画的に事業を推進し、予定されている令和8年度の事業完了に努められたい。</p>
補助金交付の方針	予算を割り当てる。

農業競争力強化農地整備事業

おんながわ

「女川地区」事業概要図

【No.4】

○総事業費 7,341百万円
(R5まで6,562百万円 進捗89.4%)

○工期 H26～R8

○主要工事

区画整理 187ha

(区画整理内訳)

整地工 187ha
(R5まで187ha施工済み 進捗100%)
農道 44km
(R5まで44km施工済み 進捗100%)

用水路 38km
(R5まで38km施工済み 進捗100%)

排水路 30km
(R5まで30km施工済み 進捗100%)

暗渠排水 187ha
(R5まで175ha施工済み 進捗93.6%)

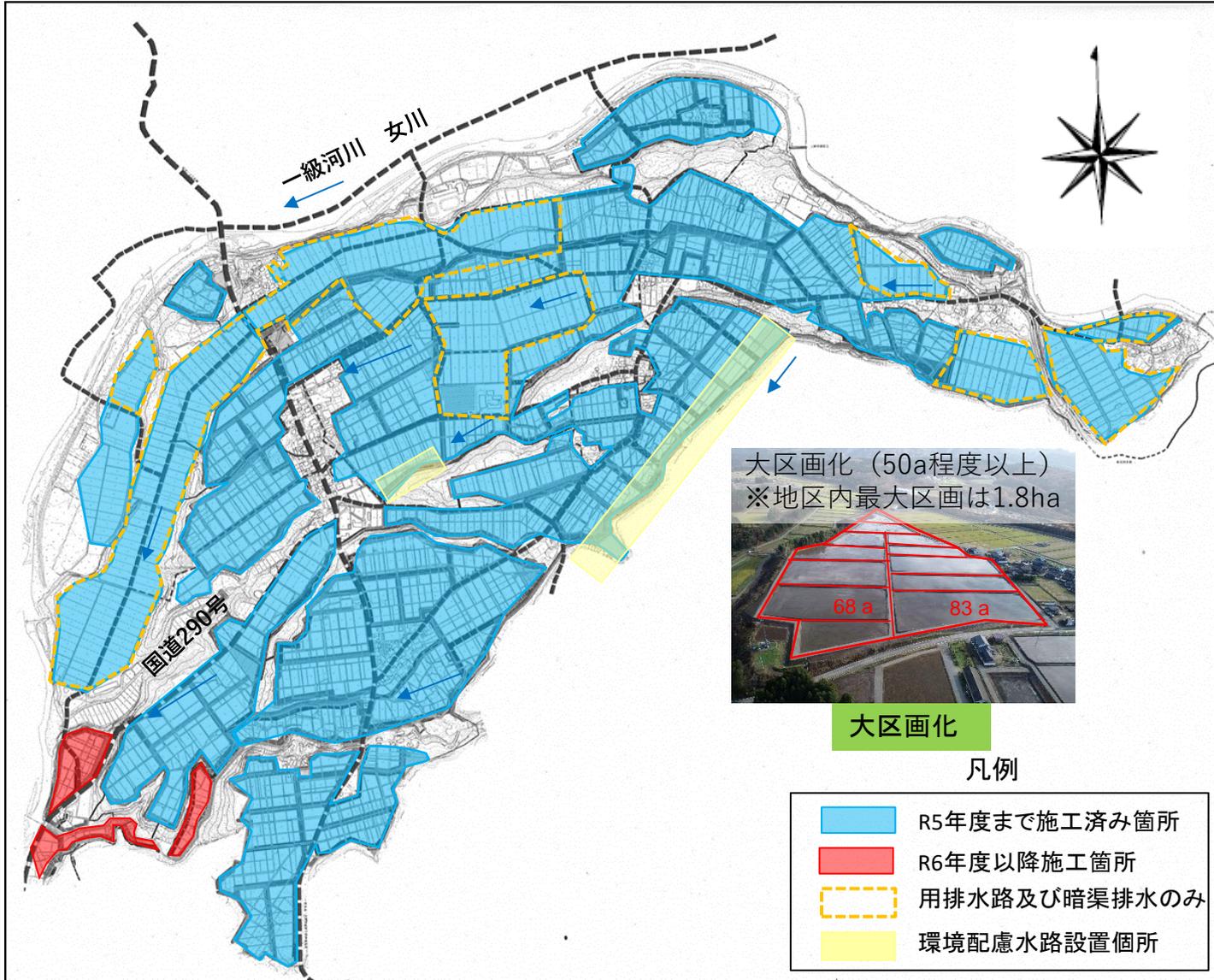
用水路 8 km
(R5まで 8 km施工済み 進捗100%)

排水路 8 km
(R5まで 8 km施工済み 進捗100%)

暗渠排水 65ha
(R5まで65ha施工済み 進捗100%)



女川地区



農業農村整備事業等再評価地区別資料

局 名	九州農政局
-----	-------

都道府県名	熊本県	関係市町村名	やっしろし 八代市
事業名	農業競争力強化農地整備事業	地区名	りょうで 両出
事業主体名	熊本県	事業採択年度	平成 26 年度
<p>〔事業内容〕</p> <p>事業目的： 本地区は、熊本県八代市に位置している。末端の地区内排水路は土水路で水路底が高く田面との高低差が小さいため、農地は常時地下水が高い状態にあり、地区全体にわたり排水不良を来している状況にある。また、用水路は整備されて 40 年以上経過し、老朽化による漏水により末端では用水不足が生じている。これに伴い、施設の維持管理の費用と労力は増加しており、新規畑作物の導入の阻害要因となっている。</p> <p>このため、本事業により用排水路・道路・客土・暗渠排水の整備を行い、用水不足及び排水不良を解消するとともに維持管理費の軽減を図り、本地域全体として農業競争力の強化を図るものである。</p> <p>受益面積： 166ha</p> <p>主要工事計画： 用水路 13km 排水路 9km 農道工 7km 暗渠排水 9ha 客土工 25ha</p> <p>総事業費： 1,739 百万円（計画総事業費：1,641 百万円）</p> <p>工期： 平成 26 年度～令和 9 年度（計画工期：平成 26 年度～令和 7 年度）</p> <p>関連事業： なし</p>			
<p>〔項目〕</p> <p>ア 事業の進捗状況</p> <p>本地区の令和 5 年度までの進捗率は、用水路は事業量の 60%が、排水路は 87%が、農道は 40%が整備済みであり、残事業については令和 9 年度までに完了予定である。</p> <p>また、暗渠排水及び客土は令和 7 年度以降から整備予定である。</p> <p>① 計画工期に対して著しい変更は認められないか</p> <p>本地区は平成 26 年度に採択されたものの、農道拡幅工事の用地取得に時間を要したことから工期を延伸することとなった。現在では、各推進委員の協力もあり、事業の進め方について、地区の意思統一がなされており、令和 9 年度完了に向けて計画的に事業進捗を図る予定である。</p> <p>② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか</p> <p>地元負担について関係者との合意形成が図られている。</p> <p>イ 関連事業の進捗状況</p> <p>本地区に関連事業はない。</p>			

① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか
熊本県食糧・農業・農村基本計画及び八代市農業振興地域整備計画書に位置付けがなされ、集積率 61.1%を目標に農地集積を進めており、適切に連携・調整が行われている。

② 国営附帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか
本地区は国営附帯地区に該当しない。

ウ 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化

① 受益面積の増又は減が 10%未満であるか
事業計画の策定以降、受益面積の変動は生じていない。

② 主要工事計画の著しい変更が認められないか
事業計画の策定以降、主要工事計画の変更はない。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化（費用対効果分析の結果を含む）

本地区は、農業効果の算定基礎となる地域農業振興の基本方針などの諸情勢の変化を踏まえた計画変更を行っており、計画変更以降、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）が計画事業費の 10%未満であるか
計画変更（令和 6 年 8 月確定）以降、工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）はない。

② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか
八代市の農業振興地域整備計画と整合が図られている。

③ 費用対効果分析の結果
(B/C) 1.71（現計画時：1.64）

オ 環境等の調和への配慮

鏡町田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域に設定されている地区であり、当初計画から環境情報協議会等で事業実施による環境影響について議論を行ってきた。

本地区及び周辺地域では、希少生物である「ニッポンバラタナゴ」「マルコガタノゲンゴウ」も確認されている。

排水路の整備において、水田周辺の魚類や植物の生息などに配慮するため、排水路構造を既設排水路と同様の二方張コンクリート構造（底張無し）とし、現況と同じ栗石にすることで、魚類や植物の生息環境を現況同様のレベルに保ち、環境負荷への最小化を図るとともに、生物の避難を行った上で工事を実施し、生態系への環境配慮に努めている。

カ 事業コスト縮減等の可能性

当初計画は、用排水路工における取水口及び一筆排水工の用水調節器やVP管を新品に更新する計画であったが、現地調査に基づき、一部について既設利用を行うことでコスト縮減に努めている。また、建設発生土について、可能な限り埋戻し土として再利用することでコスト縮減に努めている。

キ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向

本地区は地下水位が高く、高付加価値作物の導入に支障を来している。また、農業用排水施設の老朽化により維持管理に多大な労力を要している。さらに、道路幅員が狭く農作業用機械などの走行に支障を来している。

施設の整備により担い手集積率を 55.3%（平成 25 年度）から 61.1%（令和 12 年度）に増

加させる計画としている。

受益農家及び土地改良区並びに市は、施設機能の維持向上、農作業や水管理の効率化及び担い手への農地集積実現のため、本事業による農業用排水施設等の早期完了を要望している。

ク その他

第1回計画変更年月日（計画確定） 令和6年8月29日。

事業主体の事業実施方針	継続する。
事業主体の予算要求方針	令和7年度予算を要求する。
第三者の意見	<p>本地区では、現在までに用排水路は約7割、農道は約4割の整備が完了している。</p> <p>キャベツ等の野菜指定産地となっているほか、野菜類の作付面積が増加傾向にあるなど、効果が発現している。</p> <p>地元からは、安定した水利用や営農の省力化のため、本事業の早期完了が望まれている。</p> <p>今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、用排水路、農道等の整備を着実に推進することが望まれる。</p>
補助金交付の方針	予算を割り当てる。

農業競争力強化農地整備事業

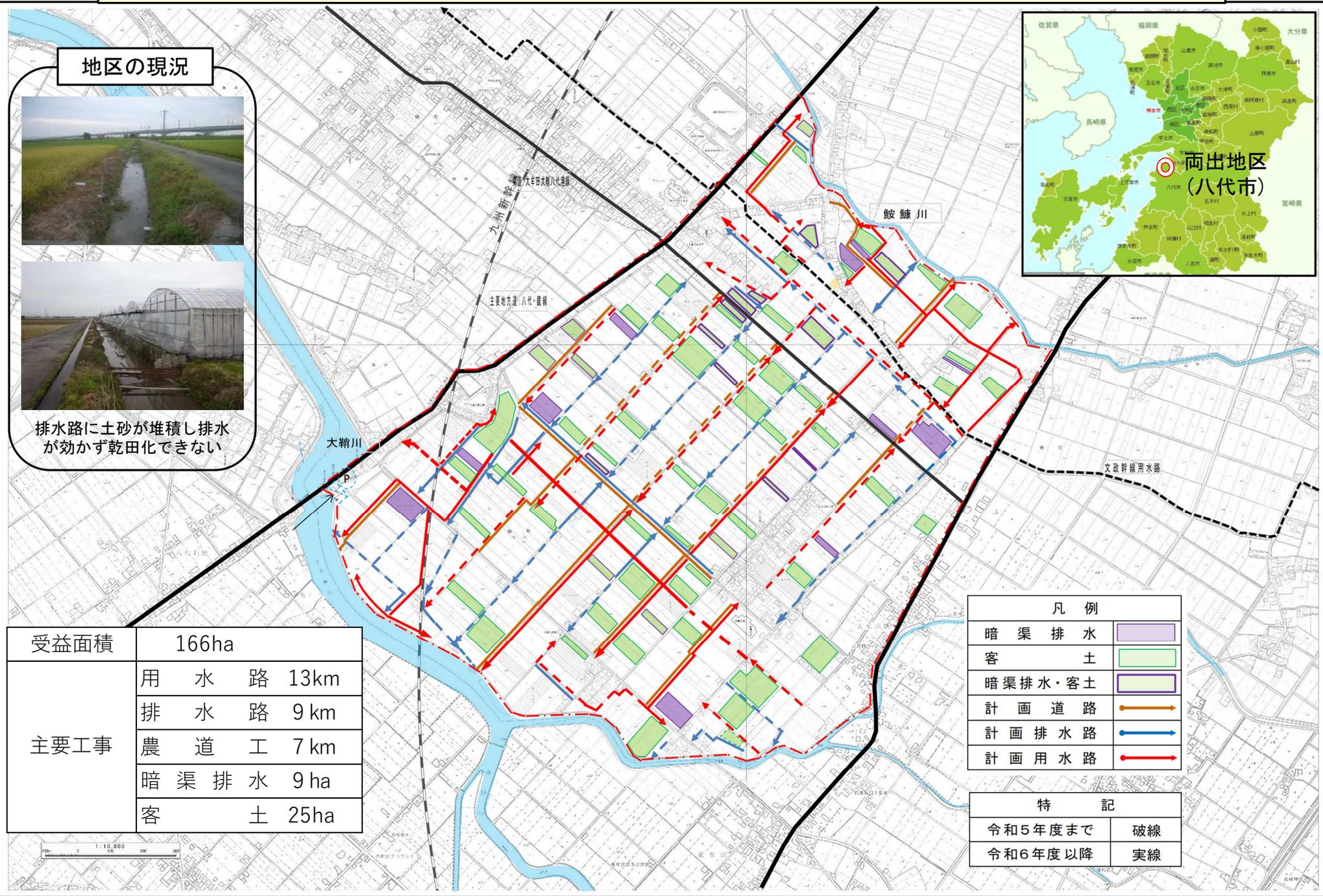
りょうで「両出地区」事業概要図

【No. 5】

地区の現況



排水路に土砂が堆積し排水が効かず乾田化できない



受益面積	166ha
主要工事	用水路 13km
	排水路 9 km
	農道工 7 km
	暗渠排水 9 ha
	客土 25ha

凡例	
暗渠排水	
客土	
暗渠排水・客土	
計画道路	
計画排水路	
計画用水路	

特記	
令和5年度まで	破線
令和6年度以降	実線

